

## 保育者ワークショップ

# 昔遊びを楽しもう!

幼児教育学科 講師 内田 雄

### 【講座趣旨】

手玉やけん玉、コマ、わらべうた遊び、鬼ごっこ等、昔からある多様な遊びが現代でも親しまれています。このワークショップでは、「あんたがたどこさ」のわらべうた遊びをベースに様々な遊び方をアレンジしたり、お手玉やけん玉などの遊びを組み合わせたりしながら、楽しく昔遊びに触れてもらいます。

### 【開催期日・場所】

平成 29 年 11 月 18 日 (土) 13:30 ~ 15:00  
 仁愛女子短期大学 F101

### 【講座内容】

我が国で伝統的に行われている「あんたがたどこさ」のわらべうた遊びに対し、様々なアレンジを加えていった。ルールがシンプルな遊び程、ルールを工夫する幅は広い。子どもたちの発想で、遊びが発展していく様子を観察することも可能である。今回利用した「あんたがたどこさ」のわらべうた遊びは「まりつき遊び」として広く知られている。この歌では歌詞に「さ」が頻繁に出てくる。歌に合わせてまりつきを行い、「さ」のタイミングで、まりを跨の下に通すというルールが一般的である。今回は、この「歌に合わせて一定の動作を実施していき、「さ」のタイミングで異なる動きを実施するというルール」を利用して様々な遊びを実施した。

まず、最初に実施したのは道具を使わない「あんたがたどこさ」である。その場で足踏みを繰り返し、「さ」のタイミングで体の一部をタッチする。前後にステップを踏む、左右にステップを踏む等のルールを組み合わせでいった。一つの動作では簡単にこな

せるルールも、複数の動作を組み合わせることで難度が増し、「上手いできないこと」の楽しさを味わった。



次に、「田」の字になるようにラインを引き、二人一組で歌に合わせて時計回りにジャンプしていき、「さ」のタイミングだけ反時計回りにジャンプするというルールに取り組んだ。2人一組で実施するため、少しの失敗で上手いできなくなる。参加者は、「上手いできないこと」が明確化され、その楽しさを2人で共有することでより楽しく取り組んでいる様子であった。時計回りのジャンプだけではなく、左右のジャンプを繰り返し「さ」のタイミングだけで前後にジャンプするなど様々なルールに変更することが可能である。

他の遊びと組み合わせた「あんたがたどこさ」にも取り組んだ。今回はお手玉を使用した。まずは、お手玉の基本的な技術を一通り確認した後に、「さ」のタイミングだけ異なる動きをする、といったルールを軸として様々な遊びを実施した。特に重点的に行ったのは「両手2個ゆり」(2個のお手玉を空中で

円を描くように同じ方向に順に回していく技、ジャグリングではシャワーに該当)である。最初は、「両手2個ゆり」を実施しながら「さ」のタイミングで逆回しにするとといったルールで実施した。お手玉に慣れてきたところで、2人1組になり、「さ」のタイミングでお手玉を交換するルール、さらに、3人以上で円になり「さ」のタイミングで隣の人にお手玉を渡すルールなどを加えていった。新しくルールを付け加えることで単純にお手玉を実施しただけでは味わえない面白さを味わえた。



最後には参加者で新しいルールの「あんたがたどこさ」の開発に取り組んだ。けん玉や中国コマ、ホッピング遊具、ミニセグウェイ等、様々な遊具を用意し、試行錯誤しながら各人のアイデアを出し合った。

参加者の方々には、今回テーマにした「あんたがたどこさ」の遊び方の幅がかなり広いことを体験してもらえたであろう。既存のルールに縛られるのではなく、子ども達と一緒に遊べば遊びを発展させ、新しい面白さを探していただければと思う。

